

## 平成24年度 「石狩市教育委員会外部評価委員会」 会議録

1. 日 時 平成24年10月25日(水) 9:30～11:30

2. 会 場 石狩市役所 402会議室

3. 傍聴者 なし

4. 出席者 (3名)

氏 名	役 職 等	備 考
村瀬 千樫	北海道教育大学 教員免許状更新講習コーディネーター	委員長
漆 恵子	石狩ユネスコ協会 事務局長	副委員長
伊井 義人	藤女子大学 人間生活学部人間生活学科 准教授	

5. 事務局 (11名)

教育長 鎌田 英暢  
生涯学習部長 百井 宏己  
生涯学習部次長 柴口 史子  
総務企画課長 上田 均  
学校教育課長 蛭谷 学俊  
教育支援センター長 西田 正人  
社会教育課長 東 信也  
文化財課長 工藤 義衛  
学校給食センター長 伊藤 和哉  
市民図書館副館長 丹羽 秀人  
総務企画課総務企画担当主査 高石 康弘

6. 議事要点

～ 開会 ～

**上田課長**

本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、これより平成24年度石狩市教育委員会外部評価委員会を開催いたします。開会に当たりまして、教育長よりご挨拶申し上げます。

～ 教育長挨拶 ～

**鎌田教育長**

おはようございます。12日に教育委員長となりました、鎌田です。せっかくの機会ですので、ご挨拶をさせていただきます。

本日の外部評価委員会は、毎年度、前年度の活動や執行しましたし施策事業につきまして点検評価を行い、その結果の報告書を作成、公表することとなっております。

この点検評価報告書については、3つの視点の中で実施されており、1つ目は、対象は前年度に実施した教育委員会の活動状況等であること。2つ目は、事業を項目別に課題を明確にしなが、今後の方針を明らかにすること。3つ目は、客観性を保つためにも学識経験者である皆様方のご意見ご助言をいただきながら、活用を図ることとなっております。本点検評価報告書は、いじめ不登校、学力向上などさまざまな教育問題への対応など、教育プランの確実な推進を兼ね、実施した事業等をまとめ、また、本市の事業評価を活用し行っております。

委員の皆様方におかれましては、忌憚のないご意見、ご審議をいただき、最終的な報告をまとめたいと考えております。簡単ですが、冒頭のあいさつといたします。

～ 教育長退席 ～

～ 事務局紹介 ～

**上田課長**

それでは、事務局の紹介をさせていただきます。(事務局紹介 省略)

～ 委員長の選任 ～

**上田課長**

それでは、要綱第4条第2項に基づき、委員長を互選により定めたいと思いますが、いかがいたしましょうか。

特になければ、事務局案を提案させていただいてよろしいでしょうか。

**委員全員**

異議なし。

**上田課長**

では、事務局といたしましては、これまでも委員長を務めていただきました、村瀬委員に委員長をお願いしたいと思います。

**委員全員**

異議なし。

**上田課長**

では、村瀬委員に委員長をお願いいたします。一言、ご挨拶をお願いいたします。

～ 委員長挨拶 ～

**村瀬委員長**

村瀬と申します。3年前に退職して、教員免許状更新講習コーディネーターをしまして、免許更新対象者である道内教員の7割程を、北海道教育大学で担当しています。教員免許を出している6大学が共同したセンターで仕事をしています。古参ということで、よろしく申し上げます。

～副委員長選任～

**上田課長**

では、要綱第4条第3項に基づき、副委員長を委員長の指名をもって定めたいと思い

ます。委員長、ご指名をお願いいたします。

**村瀬委員長**

それでは、漆委員に副委員長をお願いしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

**委員全員**

異議なし。

**村瀬委員長**

それでは、よろしくをお願いいたします。

**上田課長**

それでは、これより先の議事を村瀬委員長をお願いいたします。

～ 議事要点 ～

**村瀬委員長**

それでは、議事に移りますが、お手元の次第に沿って進めたいと思います。

議題の「教育委員会点検・評価報告書（平成 23 年度分）案について」事務局よりご説明願います。

**高石主査**

教育委員会の点検・評価報告書（平成 23 年度分）原案について、ご説明いたします。

報告書原案の 1 ページ目中段の囲みの中をご覧ください。ここに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条第 1 項の規定に、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」とあります。この報告書は、当該規定に基づき、平成 23 年度の石狩市教育委員会の活動や実施した施策・事業について、点検・評価を行い、まとめようとするものであります。

次に、この委員会において、検討していただきたい事項についてご説明いたします。第 2 項の規定に、「教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図るものとする」とあります。

この規定に基づき、教育委員会事務局がまとめたこの点検・評価案について、専門知識や教育現場での豊富なご経験をお持ちの委員の皆さまにご意見・助言をいただきたいという趣旨であります。具体的には、2 ページから 8 ページまでの「教育委員会の活動状況について」と 9 ページから 52 ページまでの「教育に関する事業について」のご意見をいただくということであり、外部評価委員の皆さまのご意見におかれましては、この場で、とりまとめていただきまして、113 ページ以降を予定してございますが、そこに掲載を行い、最終的な報告書とさせていただきたいと考えております。

改めまして、点検・評価の対象となる内容は、大きく分けて 2 つあります。

1 つ目は、「教育委員会の活動状況について」です。

教育長を含めた 5 名の教育委員の活動は、教育委員会会議での審議などを中心としていますが、その他にも、教育現場の実態把握や、さまざまな場面での意見交換など、多様な活動をしています。活動のうち、「教育委員会会議の状況については」2 ページから 6 ページ、「その他の活動については」7 ページから 8 ページに記載しております。113 ページ以降の外部評価委員の意見の欄としては、(1)と(2)にあたります。

2 つ目は、「教育に関する事業について」です。これらについては、平成 22 年度にス

スタートした新たな教育プランにおいて、施策の大項目として位置付けた、施策推進の方針、これは、9 ページに記載しておりますが、11 本の柱だてになっており、その柱ごととといいますか、柱に対応した「取組の状況」と「成果指標を含めた分析・評価及び今後の方向性など」を 13 ページから 52 ページにまとめております。

また、参考といたしまして、具体的な関連事業については、取組状況の記載中に「関連する主要事業」として事業名を掲載し、文中にも取組を記載したほか、該当する個別の事業についての詳細内容、評価内容を事業評価シートにまとめ、53 ページから 112 ページに掲載しております。その一覧を、11 ページから 12 ページにまとめておりますが、全部で 30 事業について掲載をしております。

113 ページ以降の外部評価委員の意見の内容としては、(3)の 1 から 11 にあたります。以上で概要の説明を終わります。ご審議の程よろしくお願いいたします。

#### 村瀬委員長

今事務局から説明がありました。この委員会では、113 頁以降にある「点検及び評価に対する学識経験者の意見について」に記載する意見を取りまとめることが主な目的となります。事前に報告書原案が事務局より送付され、各委員におかれましては、活動・施策の内容とその評価案について、目を通してきていただいたところと思いますので、この 13 個の 1 項目ずつに、質疑、各委員の意見の聴き取り、取りまとめの順番で進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

また、文言がある程度、方向性は出ている場合で決めきれない場合は、事務局にて調整いただき、委員長一任ということで、進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

#### 委員全員

異議なし。

### ～（１）教育委員会会議等の活動状況について～

#### 【開催状況について】

#### 村瀬委員長

教育委員会会議等の活動は活発に行われており、また、議論も活発に行われているので評価できると思います。

#### 【今後の会議のあり方について】

#### 村瀬委員長

いじめ、不登校の状況など、生徒指導にかかわる重要な案件をきめ細かく取り上げる姿勢は高く評価できると思います。些細なことも知っていることは重要であり、今後も特に、児童生徒の生命・安全にかかわることは、継続的に審議していくことを期待したいと思います。

また、平成 22 年に広報の充実が指摘されてますので、この点は継続してやっていただき、今年は意見には入れないでよいと思います。

上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定された。

(1) 教育委員会会議等の活動状況について

開催状況について（回数・案件・審議内容等）

教育委員会会議等の活動は積極的に、また、議論も活発に行われているので評価できる。

今後の会議のあり方について（回数・方式・案件内容等）

いじめ、不登校の状況など、生徒指導にかかわる重要な案件をきめ細かく取り上げる姿勢は評価できる。今後とも、特に児童生徒の生命・安全にかかわることは、継続的に審議していくことを期待する。

～ (2) 教育委員会会議以外の主な活動状況について～

【活動状況について】

村瀬委員長

昨年までも、社会教育委員などと連携して行われているというところですが、石狩市民図書館協議会との意見交換など、関係する審議会などとの密接な連携は、事業を充実させる上で大切なことであり、評価できると思います。

【今後の活動のあり方について（回数・方式・活動内容等）】

村瀬委員長

教育委員会と各種審議会等との意見交換を行い、地域の教育課題について共有することについては、継続して行われることを期待します。

伊井委員

学校の管理職だけではなく、一般教諭・保護者との交流の場があっても良いのではないかと、公式、非公式な場を問わず交流・意見交換が広く行われることがよいのではないかと考えています。

村瀬委員長

事務局にお聞きしますが、実際、このようなことは行われているのでしょうか。

百井部長

P T A側の主催で交流会という名称でテーマを設定し行っておりますが、伊井委員のご指摘の趣旨は、これからも大事にして行きたいと思います。

村瀬委員長

現場での教職員との意見交換等はもちろん、保護者との交流も行われているということで、趣旨を酌んで既に行っているということですが、各種審議会等の中に含め、継続して、今後も幅広く意見交換していくことを期待する、という記載でよいですね。

上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定された。

(2) 教育委員会会議以外の主な活動状況について

<b>活動状況について（回数・活動内容等）</b>
石狩市民図書館協議会との意見交換など、関係する審議会などとの密接な連携は、事業を充実させる上で大切なことであり、評価できる。
<b>今後の活動のあり方について（回数・方式・活動内容等）</b>
各種審議会等との幅広い意見交換を行い、地域の教育課題について共有することについては、継続的に行うことを期待する。

### ～（３）施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性～

#### ～施策（大項目）１ 生きる力につながる確かな学力を育む教育の充実～

##### 【平成 23 年度の取組状況について】

###### 漆委員

学校図書と授業の連携活用は、「学力」を育てる効果としては大きいと思います。最近の子どもは、インターネットがあることから辞書を持たない子どももいると思いますが、辞書があると、子どもの学習意欲がみなぎってきます。学校図書館を連携活用し、そのような子どもの輝きが出せたらよいと思っています。

###### 村瀬委員長

新学習指導要領の小学校全面実施に対応し、ALTの増員を行い、生きた英語に触れる機会を創出したこと、また、学習支援のモデル事業として、TT指導や習熟度別指導等を行っていることは、児童生徒の学力向上への取り組みとして評価できると思います。

また、漆委員の意見は、今後の方向性というところが強いので、方向性の中で記載したいと思います。

##### 【分析・評価及び今後の方向性について】

###### 伊井委員

SATをはじめとして他の取り組みも実施校「数」の増減も大切であるが、それがどう「内容」が評価されているか、取り組みが必要ではないかと思いました。

###### 漆委員

学力の向上に向けたわかる授業の面白さ、楽しさを発見できる主体的な教育活動の充実を望みます。

###### 村瀬委員長

学力の向上は、継続が必要です。確かな学力の分析・評価をより具体的に行い、何ができて、何ができなかったかを、各学校ごと押さえて指導に当たり、少なくとも小学校の「全観点評価1」の割合を減少させ、継続して、学習指導の工夫改善に努めることを期待したいと思っています。あるいは、学校関係者の努力改善とか考えましたが、ここは学習指導の工夫改善に努めるという文言として、底上げを期待したいと思います。グローバル・情報化社会に対応するため、コミュニケーション能力育成の基礎である意欲を高めるという目的で、小学校3・4年生に生きた英語教育を推進することは、積極的に

行っていただきたいと思います。フューチャースクールをはじめ、全道的にも進められているICTの推進が積極的に行われており評価できますが、今後はその方向性の検討がしっかりと行われることを期待したいと思います。

こういう、ひとつひとつの努力、事業が学力向上につながり、ここの内容を常に確認しながら、行って行って欲しいと思います。非常に学力の向上は、大事なところなので継続して、よろしくお願ひしたいと思います。

**上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定された。**

施策（大項目）1 生きる力につながる確かな学力を育む教育の充実

<b>平成 23 年度の取組状況について</b>
新学習指導要領の小学校全面実施に対応し、ALTの増員を行い、生きた英語に触れる機会を創出したこと、また、学習支援のモデル事業として、TT指導や習熟度別指導等を行っていることは、児童生徒の学力向上への取組みとして評価できる。
<b>分析・評価及び今度の方向性について</b>
「確かな学力」の定着に向け、継続して学習指導の工夫改善に努めることを期待する。また、SATの活用、学校図書館との連携、小学校3・4年生への生きた英語教育推進、ICTの推進等により、さまざまな取組みが積極的に行われているが、常にその内容を確認し、よりよい教育へ向けた支援を図ることを期待する。

**～施策（大項目）2 一人ひとりを大切にした教育活動の充実～**

**【平成 23 年度の取組状況について】**

**伊井委員**

特別支援教育へのニーズ拡大に、特別支援教育支援員を増員するなど、積極的かつ適切に対処しており、評価できると思います。

**村瀬委員長**

特別支援教育支援員の増員も高く評価できると思います。伊井委員と同じ意見で、一人でも多いほうがよいと思い、今後も強化を期待したいと思います。また、星置養護学校石狩紅葉山校舎が開設されたことは、子ども達の支援の充実のために重要であると思います。伊井委員と合わせた意見としたいと思います。

**【分析・評価及び今後の方向性について】**

**漆委員**

私は、旧紅葉山小学校のPTAでもあったのですが、あの学舎は、団地の中にあり、地域にとって欠かせない場所であって、特別視されてはいけないと思います。地域の皆が関心をもって、星置養護学校石狩紅葉山校舎が入っている学び交流センターが地域の中で孤立しないよう、外部との交流の場（または展示）を導入して、思いやりの実感できる環境づくりがなされることを期待します。これが、学び交流センターの入った複合

施設があつた場所にある意味であると思います。

**村瀬委員長**

サマーセミナーなどでの、特別支援教育関連講座の充実を図るとともに、特別教育支援員の更なる活用など、取り組みの充実を期待したいと思います。

**上田課長**

旧紅葉山小学校の跡利用として、星置養護学校石狩紅葉山校舎への意見が漆委員からございましたが、このご意見については、施策8で考慮いただくことがよろしいかと思ひます。

**漆委員**

星置養護学校も学び交流センターも外から見ると同一の建物なので、学び交流センターとの繋がりを意識しながら書きました。

**村瀬委員長**

それでは、漆委員の意見の内容は、事務局の見解とも一致していますので、そのように取扱いたいと思ひます。

**上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定された。**

施策（大項目）2 一人ひとりを大切にした教育活動の充実

平成23年度の取組状況について
星置養護学校石狩紅葉山校舎が開設されたことは、子ども達の支援の充実のために重要であり、また、特別支援教育へのニーズ拡大に対し、特別支援教育支援員を増員するなど、積極的かつ適切に対処しており、評価できる。
分析・評価及び今度の方向性について
教職員研修などでの、特別支援教育関連講座の充実を図るとともに、特別支援教育支援員の更なる活用などの取組みの充実を期待する。

**～施策（大項目）3 独自性が発揮できる魅力ある学校づくりの推進～**

**【平成23年度の取組状況について】**

**伊井委員**

学校ホームページの開設が20年度の50%に比べて、100%と大幅に上昇している点はプラスに評価できる。ただ、各学校のホームページを見ると、いろいろと差があることから、今後は、提供する情報の「質」の一層の向上に取り組んで欲しいと思ひます。

**漆委員**

学校へ関わる立場からも、総合的な学習などへの活動費の交付は、事業計画への主体性を大きくする画期的な取り組みとして評価します。

**村瀬委員長**

市主催の教職員研修に参加した割合が高くなっているのは評価できると思ひます。研



修は極めて重要なことから、今後とも、ICT研修など、時宜を得た適切な研修を持つことにより、参加率が向上することを期待したいと思います。伊井委員の意見の中で、方向性に関する部分がありましたので、その部分は方向性に記載したいと思います。

**【分析・評価及び今後の方向性について】**

**漆委員**

今日的なニーズ対応の人材育成は急務ですが、先生一人ひとりの課題を引き出し、解決されていく方向で実施されることが望ましいと思います。この部分は、私は、学校と関わりがある都度、先生方の生の声、日常的な課題を聞くことがあります。例えば、先生が子どもと会話する時、授業に活かせる言葉があり、ユネスコでは、魔法の言葉と言っているのですが、「くるりんぱ」という言葉があります。この言葉は、平和的な言葉であり、多面的・相手の立場で考えるような意味があります。例えば、この言葉を活かし使っていただくことで、先生方の日常の課題解決が図られるとよいと思いました。

**村瀬委員長**

人材の育成、いわゆる教職員の研修という趣旨でよろしいですね。

**漆委員**

そこまでは、大げさではないですけども。そのようなことです。

**村瀬委員長**

漆委員の意見は、人材の育成、教職員の研修は重要という趣旨に含まれるということで、記載したいと思います。

**上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定された。**

施策（大項目）3 独自性が発揮できる魅力ある学校づくりの推進

<b>平成 23 年度の取組状況について</b>
教職員研修に参加した割合が高くなっていること、学校ホームページの開設校が大幅に増加していること、また、学校奨励プログラムへの積極的な取組みは評価できる。
<b>分析・評価及び今度の方向性について</b>
教職員研修は重要なことから、今後とも、ICT研修など、時宜を得た適切な研修を持つことにより、参加率が向上することを期待する。また、学校ホームページについては、今後は、情報の質の一層の向上に取り組まれることを期待する。

**～施策（大項目）4 学校教育を推進する環境の充実～**

**【平成 23 年度の取組状況について】**

**伊井委員**

就学援助・食育領域は、教育委員会外との担当部局とも、今までも福祉・農林水産との連携をされていて、一定の評価はできますが、これらの分野はその連携が不可欠であることから、これらの部局と効果的に連携して、これまで以上に推進していった欲しいと

思います。

成果指標で、子育てに関し経済的に不安に思う割合は下がっていますが、未だ7割の保護者が不安に思っていることは、決して低い数字ではないと思われました。子育てに対する不安の減少を他部局と連携し進めて欲しいと思います。

また、学校給食における石狩産食財の使用状況は、数値は向上しながらも、5割を切っているため、石狩市は豊富な食材を持っていることから、ぜひ推進していただきたいと思います。

**村瀬委員長**

食育の関係ですが、あまり今までの外部評価委員会では触れていないところですね。実際のところはどうか、事務局のご説明をお願いします。

**伊藤学校給食センター長**

計画を立て、対象の野菜の時期になりましたら、地元優先ということで、農協の協力等を得ながら行っています。農協が倉庫を持っていないので、端境期については難しい面もあるのですが、農協等と相談しながら、できるだけ地元野菜の使用を図っています。

**村瀬委員長**

地域の農産物の活用、食育の推進・連携は特筆して出してもいい事項ですね。また、一部、方向性の中で記載する方がいいと思います。また、児童生徒の安全安心は最優先事項ですので、特に、学校の耐震化は、着実に行われており、評価できることと思いますので、その記載を入れたいと思います。

**【分析・評価及び今後の方向性について】**

**村瀬委員長**

児童生徒の安全・安心を最優先する観点から、不審者対応訓練については全校での実施を期待したいと思います。一校も漏らさず、やっていただきたいと思います。私は、池田小学校の追悼式にも行きましたが、あのような惨事は、二度と起こしてはいけなないと思われました。また、防災に関する学習や地域と連携した避難訓練などについては今後とも継続して取り組んでいただくことを期待したいと思います。

**伊井委員**

厚田区・浜益区などでは、より良好な教育環境づくりに配慮して欲しいですが、浜益区ではスキーが非常に盛んであり、そのような良いことはより良好に、という意味も込めて、スポーツ機会への配慮も怠りなくお願いしたいと思います。

**上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定された。**

施策（大項目）4 学校教育を推進する環境の充実

平成 23 年度の取組状況について
食育については、地域の農水産物活用など他部局等との一定の連携が図られ、評価できる。また、安全な教育環境整備を図り、学校の耐震化が着実に行われていることは評価できる。

#### 分析・評価及び今度の方向性について

児童生徒の安全・安心を最優先する観点から、不審者対応訓練については全校での実施を、防災に関する学習や地域と連携した避難訓練などについては、今後とも継続して取り組むことを期待する。

就学援助・食育の領域は、教育委員会以外の担当部局等との連携が不可欠であることから、これらの部局と一層の連携を図り、これまで以上に効果的に推進されることを期待する。

また、厚田区・浜益区などでは、部活動等のスポーツ機会への配慮も含め、より良好な教育環境づくりへの配慮を期待する。

#### ～施策（大項目）5 豊かな人間性と感性を育む教育の推進～

##### 【平成 23 年度の取組状況について】

###### 伊井委員

情操教育について、積極的に取り組んでいることが非常によく分かり、評価できると思います。このようなイベントは単発で終わりがちなので、子ども達には、学校の協力を得て、ここで得た「感性」を日常的に培って欲しいと思います。

###### 漆委員

私も、伊井委員と同様の意見です。「豊かな心」を育む各種のプログラムが、細やかに実践されていると感じていますので、継続して行っていただきたいと思います。

###### 村瀬委員長

私は、やはりいじめ問題に注目したいと思いました。小・中学校におけるいじめの件数が減少していることは、きめ細かい関係者の努力の結果と考え、高く評価したいと思います。

##### 【分析・評価及び今後の方向性について】

###### 伊井委員

パートナーズスクール事業は、都市部・地方部の児童両者にとって有益だと思います。ICTが普及しているので、こういったものを活用して、物理的な距離感を乗り越えて、特別なイベント時の交流も勿論、日常的に交流するような場も方向性として模索することも必要と思います。

###### 漆委員

情操教育プログラムですが、アートウォームという場所は、地域の芸術活動の場でもあるので、今後とも活用を期待したいと思います。アートウォームの活用は、子ども達が外の環境に出向いて行くことでもあり、学校教育の中では経験できない環境の中で本物に触れる、その出会いを作っていることが継続してなされ、子ども達の心の中にとても大きな思い出作りができていますので、非常に素晴らしいと思います。

###### 村瀬委員長

そういう情操教育、豊かな感性を醸成することが、不登校、いじめ減少にもつながると思います。不登校は、意識しないと減っていかないので、中学校における不登校の生徒を減少させるべく、スクールカウンセラーの活用や地域コーディネーターによる活動の活発化を期待したいと思います。また、いじめ対策については、今後とも未然防止、早期解決を図ることを期待したいと思います。

上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定された。

施策（大項目）5 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

#### 平成 23 年度の取組状況について

小・中学校におけるいじめの件数が減少していることは、関係者の努力の結果であり評価できる。

また、情操教育については、積極的かつ細やかに取り組んでおり、評価できる。

#### 分析・評価及び今後の方向性について

中学校における不登校の生徒を減少させるべく、スクールカウンセラーの活用や地域コーディネーターによる活動の活発化を期待する。また、いじめ対策については、今後とも未然防止、早期解決を図ることを期待する。

パートナースクール事業については、都市部・地方部の児童両者にとって有益なことから、ICTを活用した日常的な交流なども期待する。

情操教育については、アートウォーム等の施設を活用し、今後とも、より豊かな感性の醸成を図ることを期待する。

### ～施策（大項目）6 心身の健やかな成長を促す教育の推進～

#### 【平成 23 年度の取組状況について】

##### 伊井委員

小規模校へのスポーツの機会への配慮が、今後一層、必要になるのではないのでしょうか。どうしても小規模校になると、団体スポーツに接する機会が減少します。合同チームに対する配慮や、そこに通う際の保険適用などの配慮も必要と思います。

##### 漆委員

家庭生活習慣の中に「体づくり心づくり」の啓発に「カルタ」の導入は良案だと思います。こういった具体的なものを通して、家庭にアプローチする手段は、当たっていると思います。

##### 村瀬委員長

私は、外部の指導者を活用し、市のスポーツであるソフトボール等に支援を行ったことは評価できると思います。また、薬物乱用などは、すぐそこに迫っている危機と思いますし、携帯電話が問題行動に強く結び付いている面がありますので、薬物乱用防止教室を全中学校で実施したことや、携帯電話教室や非行防止教室などの実施は、生徒の安

全・安心を守るための取り組みとして、高く評価したいと思います。

伊井委員の小規模校のスポーツの機会への意見は、施策4の記載にて包括されるということにしたいと思います。

**【分析・評価及び今後の方向性について】**

**伊井委員**

情報モラルに関しては、最近、ソーシャルゲームなど、便利な面もあり非常に普及速度が速く、数年前には考えられない状況に学校は直面しなければならないことから、総合的に勘案し、時代に即し、対応する必要があると思います。

**漆委員**

家庭での約束事、親子での考え方や扱い方、ネットゲームや携帯電話の望ましい利用方法などについては、PTA連合会などが情報モラルの発信元となると、家庭へつなげ易くなると思います。

**村瀬委員長**

取組状況での漆委員の意見は、今後の方向性として、家庭生活習慣の定着への一層の取組みということで文言を整理したいと思います。

**上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定された。**

施策（大項目）6 心身の健やかな成長を促す教育の推進

**平成23年度の取組状況について**

外部の指導者を活用し、市のスポーツであるソフトボール等に支援を行ったことは、評価できる。また、薬物乱用防止教室を全中学校で実施したことや、携帯電話教室や非平行防止教室などの実施は、生徒の安全・安心を守るための取組みとして評価できる。

**分析・評価及び今後の方向性について**

今後とも、時代に即応した安全教育のために、専門的知識を持つ機関と密接な連携を図り、各種セミナーや教育支援センターの施策を取り進めることを期待する。  
また、望ましい生活習慣の定着に向けて、PTA連合会などと連携した一層の取組みを期待する。

**～施策（大項目）7 次代を担う子どもたちの健やかな育ちの支援～**

**【平成23年度の取組状況について】**

**伊井委員**

CAPプログラムの成果ですが、全校実施は、評価できると思いましたが。今後は、これを保護者をはじめ、市民にも幅広く知っていただく機会が必要だと感じました。また、パトロールに関して、600名も参加していることは、すばらしく、率直に驚きでありました。

**村瀬委員長**

私もこの点、伊井委員と同様に、全校実施は高く評価できると思います。

**【分析・評価及び今後の方向性について】**

**伊井委員**

藤女子大学もSATでお世話になっていますが、ボランティア数は、例年一定数確保されていると思います。今後は、その効果を向上させるためには、分野によっては、その質の確保が必要となるのではないかと思います。

**村瀬委員長**

児童生徒の教育活動の充実を図るSAT活動や読み聞かせ活動、中学校における部活動指導など、地域の教育力を活用した取り組みを今後とも期待したいと思います。伊井委員の意見での「質」ですが、ボランティアという制度面から、少し言い過ぎなきらいもありますので、資質向上の研修などについて配慮されるといったような記載で、その点を配慮したいと思います。

**上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定された。**

施策（大項目）7 次代を担う子どもたちの健やかな育ちの支援

**平成23年度の取組状況について**

CAPプログラムの全校実施については、評価できる。

**分析・評価及び今後の方向性について**

CAPプログラムについては、今後は、保護者をはじめ、市民に幅広く知っていただく機会の充実を図ることを期待する。

児童生徒の教育活動の充実を図るSAT活動や読み聞かせ活動、中学校における部活動指導など、地域の教育力を活用した取り組みを今後とも期待する。また、ボランティアは、一定数確保されていることから、今後は、ボランティアの効果を向上させるため、分野によっては、資質向上の研修などについて配慮することを期待する。

**～施策（大項目）8 地域づくりに活かされる生涯学習環境の充実～**

**【平成23年度の取組状況について】**

**村瀬委員長**

石狩市学び交流センター・公民館・カルチャーセンター等の利用者が増加していることは、評価できると思います。また、市民カレッジやシニアを対象とした地域ごとの講座の充実は、市民の学習活動の充実が感じられますので、これは評価できると思います。

**【分析・評価及び今後の方向性について】**

**伊井委員**

成果指標ですが、学び交流センターなどの施設利用者は増加傾向にあり、非常にプラスに評価できると思いますが、一方で、市民アンケートの結果で、自ら進んで芸術、文化、ボランティア、趣味、教養などの学習活動を行っているとした市民は、3割程度

でしかないとあります。これは、リピーターが利用者の増加を支えていると思われまして、延べ数ではなく、絶対数の増加が必要であり、参加市民の一層の増加を図るには、どのような取り組みが必要なのかを、考える必要があるのかなと思います。

#### 漆委員

市内の生産者等を招き、広い範囲で地元の生き方、生き様を紹介する機会を加えて、市民カレッジの充実した取り組みを期待したいと思いました。石狩には、豊かな、質の高い生き方をしている人が沢山います。事ある機会に、お会いしてお話を聞くのですが、彼らから学ぶものは沢山あります。いろいろな人を発掘し、いろいろ出会うことで、市民カレッジの充実を図ることや、可能性としては、食育、学校の授業の中でも役立てられることもあると思います。

#### 村瀬委員長

ユネスコスクールの認定校指定に向けて、より一層の支援を期待したいと思います。ただ、内容が大事だと思いますので、やみくもに進めるべきではない面もあります。

また、施策2での、漆委員の意見ですが、星置養護学校石狩紅葉山校舎、学び交流センターなどが入っている複合施設が地域の中で孤立せず、思いやりの実感できる環境づくりが推進されることを期待することですが、学び交流センターの方向性のひとつとして、ここに記載したいと思います。

#### 上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定された。

施策（大項目）8 地域づくりに活かされる生涯学習環境の充実

平成 23 年度の取組状況について
学び交流センター・公民館・カルチャーセンター等の利用者が増加していること、また、市民カレッジやシニアを対象とした地域ごとの講座の充実は、市民の学習活動の充実が感じられ評価できる。
分析・評価及び今度の方向性について
学び交流センターなどの施設利用者は増加傾向にあるが、地域や地域の生産者等と連携し市民カレッジの充実を図るなど、魅力的な取組みを推進し、生涯学習活動を行う市民の一層の増加を図ることを期待する。また、同センターの入る複合施設については、地域との交流などによる連携を図り、思いやりの実感できる環境づくりの推進を期待する。 ユネスコスクールの認定校指定については、より一層の支援を期待する。

#### ～施策（大項目）9 学習の拠点としての図書館サービスの充実～

##### 【平成 23 年度の取組状況について】

#### 伊井委員

非常に魅力的な講座・展示が実施されているので、せっかくなので、少しでも多くの

参加者が確保できるように、今後も広報に力を入れて欲しいと思いました。

**村瀬委員長**

私も同様ですが、図書館講座や特別展示など、市民の学習機会の提供は大切であり、評価できると思います。また、図書館新規登録者が増加したことは、評価できると思います。伊井委員の今後の広報についての部分は、今後の方向性にて記載したいと思います。

**【分析・評価及び今後の方向性について】**

**伊井委員**

地域行政資料は、今後、ホームページを通した、デジタルファイルでの公表機会も多くなるであろうことから、地域行政資料に関するデジタル・アーカイブのいち早い設立を望みます。これからは、経費削減も含め、紙媒体ではなくファイルだけの公開が進み、紙媒体として残らないことから、情報が散逸する可能性があります。年度を追ってのデジタルアーカイブなどがあれば、使いやすいと思います。

**漆委員**

書の寄贈は、今まで脚光を浴びてはいませんでしたが、多様な書の受入れ強化はユニークな本棚としての人気を期待できるのではないかと思います。

**上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定された。**

施策（大項目）9 学習の拠点としての図書館サービスの充実

**平成 23 年度 of 取組状況について**

図書館が、魅力的な図書館講座や特別展示などを通し、市民に学習機会を提供することは大切であり評価できる。また、図書館新規登録者が増加したことは、評価できる。

**分析・評価及び今後の方向性について**

図書館利用者の増加に向けた計画的な取組み、寄贈を含めた地域行政資料の充実や地域行政資料に関するデジタル・アーカイブのいち早い設立を期待する。また、図書館講座や特別展示については、より多く市民が参加できるよう、広報が充実されることを期待する。

**～施策（大項目）10 石狩文化の活用による自主的・主体的活動の支援～**

**【平成 23 年度 of 取組状況について】**

**伊井委員**

文化活動に関しましては、活発に活動していることが評価できますが、一方で、いわゆる石狩の伝統文化に関わる取組が少ない印象があり、もう少し、地域性をアピールしても良いのではないかなと思いました。この施策項目での発言としては、的外れかもしれませんが、コメントします。

**漆委員**



文化祭として包括される種々な演目の日数、延参加、見学者を推察して、市民の30%以上の盛り上がりが見たいと思いましたが、高齢の方の参加が多いのですが、なんとか工夫して、年齢層を広げる手法と見えますか、より多くの市民の参加を図っていただきたいと思えます。

**村瀬委員長**

市民の自主的な文化活動や、文化活動へ触れる機会の創出については、非常に多岐に渡っており、市民の生活にうるおいや生きがいを見出すものとして、評価できると思えます。

漆委員の意見の、より多くの市民の参加を図っていただきたいという部分は、今後の方向性で記載したいと思えます。

伊井委員の意見の、石狩の伝統文化に関して、どこの施策に当てはまるのかというところは、事務局としてはどのような見解なのでしょう。

**東社会教育課長**

市民文化祭も57回を数えまして、もはや石狩の伝統とも言えますが、この施策（施策10）では、現在の石狩市ならではのもの、次の施策（施策11）では、過去の、と言いますか、伝統的なものを扱うということによろしいかと思えます。

**村瀬委員長**

事務局の見解では、施策11で扱うということですが、そのようにしてよろしいですか。

**伊井委員**

わかりました。

#### **【分析・評価及び今後の方向性について】**

**漆委員**

文化芸術支援制度の継続を期待したいと思えます。

**村瀬委員長**

地域の文化活動振興については、継続し、効果的に推進していただきたいと思えます。漆委員と同様、文化芸術支援制度については、支援企業の確保を図り、継続的に実施されることを期待したいと思えます。

#### **上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定された。**

施策（大項目）10 石狩文化の活用による自主的・主体的活動の支援

##### **平成23年度の取組状況について**

市民の自主的な文化活動や、文化活動へ触れる機会の創出については、非常に多岐に渡っており、市民の生活にうるおいや生きがいを見出すものとして評価できる。

##### **分析・評価及び今後の方向性について**

市民文化祭などの地域の文化活動振興については、より多くの市民の参加を図り、効果的に、継続して推進することを期待する。また、文化芸術支援制度については、支援企業の確保を図り、今後とも継続して実施することを期待する。

## ～施策（大項目）11 ふるさとを学び伝える取組の充実～

### 【平成 23 年度 of 取組状況について】

#### 伊井委員

非常に、興味深いテーマで講座を開催していますので、今後、大学を含めた教育機関との連携、単位化などの可能性を模索して、参加者数を増加させることが望まれます。

今後、大学との連携、単位化などは、これから行える可能性も高いと思いますので、コメントします。

#### 村瀬委員長

石狩市の文化・伝統について、市内外への情報発信を積極的に行ったことは、評価できると思います。伊井委員の意見は、今後の方向性の中で記載したいと思います。

#### 漆委員

今は、各種団体のパワーといいですか、石狩市民の特性、そういうことを大事にしながら、文化祭は 57 回開催されたということですが、一方で、石狩川・郷土芸能についての企画取り組み、そのようなものを活用したふるさと意識の醸成などは、あったのでしょうか。

#### 村瀬委員長

このところは、事務局としてはどのような見解なのでしょう。

#### 工藤文化財課長

これまでも、ふるさと意識に繋がるようなことは意識して取り組んできています。郷土芸能などについては、文化の伝承保存ということで、取り組み出していますので、これからは、見てもらう機会の創出を図りたいと思います。

#### 村瀬委員長

歴史のある石狩川や、地域に根付いた郷土芸能などをこれからもクローズアップして、より地域性を出した取組を行う、また、そのようにして、参加者の増加も図るということで、今後の方向性での記載でよろしいでしょうか。

#### 漆委員

わかりました。

### 【分析・評価及び今後の方向性について】

#### 漆委員

いしかり館ネットワークの事業推進に期待したいと思います。今後の展開へのきっかけ作りとして、ネットワークの構築は、評価できると思います。

また、いしかり館めぐりMAPの記載に関連して、全般的な話しですが、高齢者は、何処に行くにも、何をすることも、マップを見ます。携帯電話、スマートフォン等もありますが、まずは、紙の地図を見ます。石狩ならではの地図の有効活用が考えられるのではないかと。このコンビニには便座があって、あそこにはないとか、あれば、便利であり、身近な情報源として、いろいろな活用が考えられます。

#### 村瀬委員長

では、いしかり館ネットワークの構築は評価できる、ということで、一部は取組状況へ記載ということにします。また、地図の有効活用も必要と思いますが、全般的な意見

として、記載はせず、この場の意見としてお聞きするというところでよろしいでしょうか。

**漆委員**

わかりました。

**村瀬委員長**

防災に役立つ過去の災害資料などのふるさとを学ぶ資料の充実を図ること、また、無形文化財の調査等も推進することなど、今後とも文化財の保護や活用に力を入れることを期待したいと思います。

**上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定された。**

施策（大項目）11 ふるさとを学び伝える取組の充実

**平成 23 年度 of 取組状況について**

石狩市の文化・伝統については、市内外への情報発信を積極的に行ったこと、また、いしかり館ネットワークの構築は、評価できる。

**分析・評価及び今後の方向性について**

石狩市の文化・伝統については、今後、大学を含めた教育機関との連携した取り組みや、歴史のある石狩川・地域に根付いた郷土芸能などをクローズアップし、より地域性を出した取組を行うことや、いしかり館ネットワークを推進し、参加者数の増加を図ることを期待する。

また、防災に役立つ過去の災害資料などのふるさとを学ぶ資料の充実を図り、無形文化財の調査等も推進するなど、今後とも文化財の活用や保護に力を入れることを期待する。

**村瀬委員長**

これで議事を終了します。皆さまのご協力に感謝いたします。

(11 : 30 終了)

平成 24 年 10 月 31 日会議録確定

石狩市教育委員会外部評価委員会

委員長 村 瀬 千 樫